

科目名	病害虫防除概論			開講時期	1年生 後期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	(1)病害虫等の発生要因と防除対策に関する学修 (2)環境に配慮した総合的病害虫管理に関する学修 (3)農薬の適正使用に関する学修					
身に付ける力	(1)病害虫等の防除対策に関する基礎知識 (2)農薬の適正な使用方法					
到達目標	(1)病害虫等による被害を最小限に抑えるための防除対策を講じることができる (2)農薬を適正に使用することができる					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	病害虫防除の基礎		2		
	2	病害の発病条件及び害虫の生態と防除法(基礎)		3		
	3	病害の発病条件、防除法及び診断法(最新知見を含む)		1		
	4	害虫の生態と防除法(最新知見を含む)		1		
	5	施設見学		1		
	6	農薬の基礎知識、適正使用 総合的病害虫管理技術及び発生予察について		2		
	7	雑草の防除法		2		
	8	農薬工場見学(バイエルクロップサイエンス防府工場)		2		
	9	定期試験		1		
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	植物生理・育種			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	30 時間	
担当者名				単位数	2 単位	
科目の概要	(1)植物の特性、環境要因、栄養等の生理的機能に係る基礎知識および生理生態を活用した栽培管理技術に関する学修 (2)植物の繁殖方法や育種・品種開発に係る基礎的知識および山口県オリジナル品種の育成に関する学修					
身に付ける力	(1)実際の栽培管理に活用するための植物生理の基礎知識 (2)作物の育種に関する基礎知識					
到達目標	(1)植物の生理的機能や栽培管理技術がどのように植物に影響するか理解する (2)作物の育種に関する基礎的知識及び山口オリジナル品種の育成の取組を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	植物の構造、水と溶質の輸送		2		
	2	発生と分化、種子の休眠と発芽		2		
	3	環境要因と植物の反応		2		
	4	植物ホルモン		2		
	5	呼吸と光合成のしくみ、光合成のタイプと環境要因		2		
	6	栽培管理技術への応用		6		
	7	育種とは、遺伝子の役割		2		
	8	植物育種、繁殖方法		2		
	9	植物バイオテクノロジー実習		2		
	10	品種登録制度の概要		1		
	11	県オリジナル品種の育成		6		
	12	定期試験		1		
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	60	実技テスト		
	レポート	思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点：「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	施設園芸(1年生)			開講時期	1年生 後期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力			時間数	15 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	(1)施設園芸に係る建物施設の構造・管理方法や各種園芸資材等の特性・使用方法、環境制御法に関する学習					
身に付ける力	(1)施設園芸を実践する上での基礎的知識					
到達目標	(1)施設園芸に係る建物施設の構造及び各園芸資材の基礎的知識を理解する。 (2)冬期加温施設における省エネルギー対策、環境要因及び制御技術を理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	施設園芸の概要、メリット・デメリット		2		
	2	施設の種類と形式		1		
	3	被覆資材の機能と特性		1		
	4	マルチ、べたがけ資材の特徴		1		
	5	農業用使用済みプラスチックの適正処理		4		
	6	施設内環境の特性と制御、光制御		1		
	7	保温の原理		1		
	8	温度、二酸化炭素の管理		1		
	9	施設見学		2		
	10	定期試験		1		
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(野菜)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名				単位数	4 単位	
科目の概要	(1)主要野菜の生理生態に関する学習 (2)野菜生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3)野菜流通の現状に関する学習					
身に付ける力	(1)主要野菜の栽培に関する基礎知識・技術 (2)野菜流通に関する基礎知識					
到達目標	(1)主要野菜の生理生態と栽培管理方法の習得 (2)基礎的な施設管理方法の習得 (3)野菜流通の現状を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	ナス科主要野菜の生理生態と栽培管理		7		
	2	ウリ科主要野菜の生理生態と栽培管理		7		
	3	アブラナ科主要野菜の生理生態と栽培管理		7		
	4	イチゴの生理生態と栽培管理		7		
	5	土地利用型野菜の生理生態と栽培管理		7		
	6	ホウレンソウ等葉物類の生理生態と栽培管理		6		
	7	その他県内特産野菜品目の生理生態と栽培管理		4		
	8	気象災害対策(台風、凍結防止等)		4		
	9	施肥設計と農業計算		8		
	10	野菜流通の現状と課題		2		
	11	定期試験		1		
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	60	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(野菜)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	120	時間
担当者名				単位数	6	単位
科目の概要	(1)主要野菜の生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修					
身に付ける力	(1)主要野菜の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)主要野菜の生産に必要な基礎知識・技術の習得					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	栽培計画の作成		2		
	2	土壌分析と施肥設計		2		
	3	ほ場準備(土づくり、土壌消毒、灌水装置の設置)		15		
	4	主要野菜の栽培管理と出荷調整		91		
	5	栽培実績の作成		10		
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(野菜)			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	750 時間		
担当者名				単位数	25 単位		
科目の概要	(1) 選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習						
身に付ける力	(1) 選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 (2) 選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法						
到達目標	(1) 選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2) プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定			4		
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成			4		
	3	生産プロジェクトの実施			718		
	4	中間検討			4		
	5	生産プロジェクト報告書作成			20		
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験			実技テスト			
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10	
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農家体験研修			開講時期	1年生 5月～6月		
				授業の形態	実習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	30 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	先進農家・農業法人での1週間の農業体験研修						
身に付ける力	農大での学修及び就農意欲の向上						
到達目標	生産現場や農家生活、農業法人の実態の体験・理解						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農家体験研修(5日間)			30	(研修先)農家等	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験			実技テスト			
	レポート(研修報告)	思・判・理	50	発表・成果物	知・技	50	
	授業・実習態度			研修評価			

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(花き)			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間		
担当者名				単位数	4 単位		
科目の概要	(1) 主要花きの生理生態に関する学習 (2) 花き生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3) 花き流通の現状に関する学習 (4) 花きの加工利用に関する学習						
身に付ける力	(1) 主要花きの栽培に関する基礎知識・技術 (2) 花き流通、加工利用に関する基礎知識						
到達目標	(1) 主要花きの生理生態と栽培管理方法の習得 (2) 基礎的な施設管理方法の習得 (3) 花き流通の現状を理解する (4) 花きの加工利用方法を理解する						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	主要花き(宿根草類)の生理生態と栽培管理			12		
	2	主要花き(一年草類)の生理生態と栽培管理			12		
	3	主要花き(球根類)の生理生態と栽培管理			12		
	4	主要花き(苗鉢もの類)の生理生態と栽培管理			10		
	5	施肥設計と農薬計算			11		
	6	花き流通の現状と課題			2		
	7	筆記試験			1		
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験	知・技、思・判・表	60	実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(花き)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	120	時間
担当者名				単位数	6	単位
科目の概要	(1)主要花きの生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修					
身に付ける力	(1)主要花きの栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)主要花きの生産に必要な基礎知識・技術の習得					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	栽培計画の作成		4		
	2	土壌分析と施肥設計		3		
	3	ほ場準備(土づくり、土壌消毒、灌水装置の設置)		20		
	4	主要花きの栽培管理と出荷調整		75		
	5	栽培実績の作成		8		
	6	花きの加工		10		
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(花き)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	750 時間	
担当者名				単位数	25 単位	
科目の概要	(1)選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習					
身に付ける力	(1)選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 (2)選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定		4		
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成		4		
	3	生産プロジェクトの実施		718		
	4	中間検討		4		
	5	生産プロジェクト報告書作成		20		
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(果樹)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名				単位数	4 単位	
科目の概要	(1) 主要果樹の生理生態に関する学習 (2) 果樹生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3) 果樹流通の現状に関する学習 (4) 果樹の加工利用に関する学習					
身に付ける力	(1) 主要果樹の栽培に関する基礎知識・技術 (2) 果樹流通、加工利用に関する基礎知識					
到達目標	(1) 主要果樹の生理生態と栽培管理方法の習得 (2) 果樹流通の現状を理解する (3) 果樹の加工利用方法を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	果樹用具の使用方法		2		
	2	農薬の基礎知識と使用方法		6		
	3	果樹栽培の基礎(結果習性、整枝・せん定、品種更新等)		8		
	4	落葉果樹の生育と栽培管理(ブドウ、ナシ、クリ、ウメ)		12		
	5	常緑果樹の生育と栽培管理(カンキツ、ビワ)		6		
	6	果樹で使用する農業機械の基礎知識と技術		6		
	7	果樹における土壌・施肥管理の基礎		6		
	8	果樹における気象災害と対策		4		
	9	施肥・農薬に関する計算		4		
	10	果樹の生産・流通の現状と課題		2		
	11	各論のまとめ		3		
	12	筆記試験		1		
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技・思・判・表	60	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(果樹)			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	120	時間	
担当者名				単位数	6	単位	
科目の概要	(1)主要果樹の生産に必要な栽培計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修						
身に付ける力	(1)主要果樹の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術						
到達目標	(1)主要果樹の生産に必要な基礎知識・技術の習得						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	主要果樹の栽培管理 (ブドウ、ナシ、カンキツ類について、山口県果樹栽培指導指針に記載のある作業内容(目的、方法、期限など)について、プリント等を用いて作業前に説明する。その後、各自で作業する。)			80		
	2	主要果樹の出荷調整、販売方法の検討・実践			20		
	3	主要果樹の栽培実績の取りまとめ、次年度の計画作成			20		
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
テキスト・副教材	山口県果樹栽培指導指針、講師作成のプリント						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験			実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価			
観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度							

科目名	生産プロジェクト実習(果樹)			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	750 時間		
担当者名				単位数	25 単位		
科目の概要	(1)選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習						
身に付ける力	(1)選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 (2)選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法						
到達目標	(1)選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定			4		
	2	生産プロジェクトの設計書作成			8		
	3	生産プロジェクトの実施			714		
	4	中間検討			4		
	5	生産プロジェクト報告書作成			20		
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験			実技テスト			
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10	
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度